

ダムっ湖

春創刊号

2003.4.15
三国川ダム管理所発行

三国川ダムを地域のみならずにもっと知ってもらうため、そうかん創刊しました。



「ダムっ湖」発刊にあたって

さくがわ
三国川ダム管理所長
平賀憲太郎

ダンダンどうも（この地域の方言で「こんにちは」という意味だそうです。）

昭和44年8月の未曾有の集中豪雨の発生が地域に大きな被害を及ぼしたことがきっかけとなり、三国川ダムが生まれました。

その三国川ダムも管理を始めて、今年で10年目を迎えます。この間「地域に開かれたダム」として、年間約30万人の方々が訪れています。

三国川ダムを訪れていただいた皆さん・地域の皆さんと三国川ダム管理所が様々な情報を発信し、紙面を通して交流・連携が図られればと今回「ダムっ湖」が産声をあげました。

この「ダムっ湖」を読まれたかたの積極的な投稿をお待ちしております。

皆さんでこの「ダムっ湖」大きく育てていってください。

「三国川ダム」って…???

年間30万人の方が訪れてくださる三国川ダム。ところで三国川ダムって何のために造られたのでしょうか？早速さぐり博士から優しく説明してもらいましょう。

さぐくん：博士！ところで三国川ダムってどこにあるの？

さぐり博士：六日町の十字峠って知ってるかい？君たちも夏休みに水遊びに行ったことがあるじゃろ。その途中にある大きな石を積んだダムが三国川ダムだよ。

さぐくん：そういえば近くにオートキャンプ場もあったね。でもなぜあそこにダムをつくったの？

さぐり博士：川は人々の生活になくてはならないものだという事は君たちも知っているよね。

しかし川というものは気まぐれで、時に洪水を起こし、またある時は水不足になったりと手に負えない。特に君たちが生まれる前、昭和44年の大雨では魚野川や三国川などでは死者が出るほど大被害を受けたんじゃ。そこで洪水から君たちの家や学校、田畑などを守るためにダムが作られたんだよ。

洪水のときの様子は、おじいちゃん、おばあちゃんにも聞いてもらおう

りっちゃん：そういえばこの前、おかあさんが「おうちの水道の水も三国川ダムの水よ。」って言ってたけど本当？

さぐり博士：りっちゃんはよく勉強しているね。実はこの三国川ダムは、「洪水を防ぐため」以外にも3つの役割があるんじゃ。こういうダムを「多目的ダム」っていうんじゃよ。まず、2番目の役割「水道」のお話からしようか。



さぐり博士

さぐくん：へーっ。じゃあ僕んちの水道はダムにつながっているんだ。

さぐり博士：それはちょっと早とちりだな。いくら三国川の水がきれいだといってもそのまま飲めるわけじゃない。ダムで蓄えた水は一度三国川に流して、それから下流の浄水場で消毒してみんなの家に水を配っているんだよ。六日町、塩沢町、大和町の水道はみんなこの三国川ダムで貯めた水を使っているんだよ。

りっちゃん：なるほど。ダムのおかげで水不足なんてことがないのね。じゃ3番目の役割は？

さぐり博士：3番目は「田畑の作物のための水や川にすむ魚や川岸に生えている植物のための水」じゃ。水不足から農作物を守ったり、川が元々持っている姿を守るという意味で「流水の正常な機能の維持」っていうんじゃが、君たちには少し難しすぎたかな。

さぐくん：うーん……。言葉は難しいけど稲や野菜が枯れたりしないように、川にすむ魚が元気で泳いでいられるように、日照りに備えて水をダムに蓄えておくってことでしょ？

さぐり博士：そのとおり。それじゃ最後4番目の役割は「発電」じゃ。

三国川ダムには実は2つの発電所があるんじゃ。ダムには水の量を調節するために大きな水門があるのは知っているよね。それを動かすための電気を起こしているのが「管理用発電所」。そして、もうひとつが「五十沢第二発電所」。これはみんなの家に電気を送っている電力会社の発電所だから、君たちの家の電気も三国川ダムで発電したものかもしれんぞ。

りっちゃん：すごーい！たった1つのダムなのにこんなにたくさんの役割があるのね。



りっちゃん

さぐくん

インタビュー

(ダム完成までを振り返って)

今日は、ダム建設当時の地元対策協議会の二代目会長でいらっしゃいました桑原恒一さんのお宅におじゃまして、当時のお話をお伺いしたいと思います。

桑原さんよろしくお願ひいたします。



六日町大字清水瀬
桑原恒一さん

Q： まず、ダム建設のきっかけとなった洪水の様子は、どんなものだったのでしょうか？
どこかに避難などされたのですか？

桑原さん： 昭和44年8月の出来事ですが、すごい集中豪雨で、かつてない大洪水でした。一週間くらい前から雨が降り続いていたのですが、12日の夜からはバケツをひっくり返したようなどしゃ降り、今まで1度も出会ったことのない大雨でした。三国川は、濁流による異様な土の臭いと、上流からは大きな石がゴロゴロと転がって来る地響きのような音がして、一瞬のうちに家や立木が流されてしまいました。避難する間もなく、とにかく二階に昇って水の引くのを待った家が何軒もありました。

Q： ダムが出来たことによるメリット？

桑原さん： ダムが出来たことによって水害の心配がなくなった。年間30万人もの観光客がダムを訪れると聞いているが、これは六日町だけでなく、魚沼一円の観光地としての位置づけが出来たと思いますし、地域の活性化につながっている。三国川ダムは、他のダムに比べて比較的町から近いので遊びやスポーツ、ジョギングに来るにも都合が良く、いい時期にいいダムが出来、大変良かったと思っています。

Q： ダムが出来たことによるデメリット？

桑原さん： 出水がなくなり、川が淀むようになった。清流回復を図ってほしい。魚類等の生態も多少変わって来ている。



昭和44年8月

Q：ダム建設期間中、一番心に残っているのは何ですか？

【うれしかったこと】

桑原さん：トンネルの貫通式・仮排水トンネル転流・橋の渡りそめ・定礎式・ダムの湖底祭りなどダムの最盛期でしたので、いろいろな式典に出席させてもらい感慨深いものがあります。

【大変だったこと】

桑原さん：用地交渉でしょうね。約200名の地権者が意思統一をすることですから。長期間の工事です。お互いにつまずいてはならないという気使いがありました。みんな前向きに考えて進めてくれたと思っています。

Q：ダムに対するご意見・ご要望はありませんか？

桑原さん：地域活性化への更なる支援をお願いしたい。第三セクターによる売店などは地元の名産品などをもっと販売したらどうか？ただ、観光するだけでは寂しいものがあると思うので、お客様のニーズに答えていく努力を。毎年行われる「森と湖のイベント」は継続して行ってもらいたいと思います。そのためには、関係機関の協力が不可欠であります。あと、展示室の場所がどこか分かりにくいので、もっと目に付く大きな看板を取り付けたいと思います。

今日はお忙しい中、貴重なお話を聴かせて頂き本当にありがとうございました。



▼昭和62年9月7日



▲昭和58年4月25日



Q&Aコーナー

Q：「三国川」と書いてどうして「さぐりがわ」と読むの？

A：語源は、源流地が新潟県・群馬県・福島県の3国の境界地にあります。その川からの名前だと思います。「さんくに」が「さぐり」になまったのではないかと一説には魚沼地方の地名にはアイヌ語が残っているとも言われています。いろいろな説がありますが、実際私達も良く分かりません。どなたかこの名前の由来についてご存知の方は、編集部までご一報ください。



「ダムの中」?… に入ってみませんか

さぐくん : 三国川ダムって石を積んだダムだよ。中に入るって?
さぐり博士 : 実はダムの地下には監査廊という点検用のトンネルがあって、入ることができるんだよ。

さぐくん : 知らなかったな。でも、どうやって入るの?

さぐり博士 : 入口が何方かあって、点検の時は急な階段を使って地下へ降りるけど、とても危ないから、みんなが入る時はエレベータを使って地下約100mまで降りるんだ。
みんなが見学できるのは、800mくらいかな。

さぐくん : いつでも見学できるの?

さぐり博士 : 管理所の展示室に受付があるので、見たい日に行って申込みをすれば見学できるよ。

さぐくん : よーし。今度の日曜日に見に行こーっと!

ダムの中に入るって?…



土・日・祝祭日OK



監査廊(地下トンネル)を見学しよう

見学日 **5月1日から11月30日までの日、水、木、金、土曜日**
「毎週月、火曜日(祝祭日の場合は翌日)と雨でダムの水位調節を行う場合はお休みします。」

見学時間 1日6回(9時・10時・11時・13時・14時・15時からの40分程度)

申込方法 見学開始時間の10分前までに展示室受付へお越し下さい。
職員がご案内します。

社会(総合)学習のお手伝いをします

事前にお申込みいただければ、ダムについての説明や各施設をご案内します。
学校・学年単位でお申し込み下さい。

問い合わせ・申込み: 三国川ダム管理所 総務係
TEL 774-3015

昨年も多くの方が見学されました。

六日町: 五十沢小学校・西五十沢小学校・六日町小学校
城内小学校・大巻小学校

大和町: 浦佐小学校

長岡市: 才津小学校・上川西小学校

吉田町: 吉田北小学校



ダムで「何か知りたい」・「困った」ときは!!

管理所の職員は全員
写真入りの名札を着用
しています。

どんなことでも気軽に
声を掛けて下さい。



⑥ NHK連続テレビ小説「こころ」撮影

今月から放送されているNHK連続テレビ小説はご覧になっているでしょうか？

新潟県中越地方が舞台の一つとなっている「こころ」です。その六日町ロケが、2月11日に三国川ダム近くの「しゃくなげ湖観光センター」でも行われました。

今回のロケでは主人公こころ（中越典子さん）の夫・雄作（仲村トオルさん）が八海山で遭難し生存が絶望的になる、物語前半のハイライトになるシーンが主な撮影。

このロケ現場では「吹雪」の設定と言うことでしたが、この日はあいにく雪どころか雨が降り出してしまい、スタッフのみなさんは擬似的に雪を見せる装置を使って雪を演出していました。

「普通の吹雪よりも風が強いんじゃないか……？」
と言う突風の中、ヒロイン中越典子さんの迫真の演技！思わず見入ってしまいます。この日は深夜まで撮影が行われたそうです。（私は寒くて途中で帰ってしまいました…）

今回のシーンは5月下旬に放送の予定です。

・NHK連続テレビ小説「こころ」HP

http://www.nhk.or.jp/niigata/asa_dora/kokoro.html



撮影中の1コマ（中央が中越典子さん）



筆者と主演の中越典子さん

は じょう 栄えある受賞!? 「ダム放水大賞」3位受賞

「笑っていいとも！」でお馴染み、タモリさんがお送りする「タモリ倶楽部」（テレビ朝日系）毎回さまざまな企画を斬新な切り口で放送しているバラエティ番組ですが、「男の建造物 ダム放水大賞」の回で、我が三国川ダムが3位を受賞しました！ワ～！パチパチパチ！

「ダム。それは私たちの生活に不可欠な水を確保するものであると同時に、現代人が造りうる最大級の建造物である…」

ダム放水の映像を見ながら、どの放水が素晴らしいか大賞を決めるのですが、番組冒頭の物々しいナレーションとは裏腹に、終始和やかに番組は進行されていきます。

この放送を通して少しはダムを身近に感じてもらえたらなあ…と願う私です。

ちなみに、1位は黒部ダム（富山県）、2位は大川ダム（福島県）でした。

なお、この放送は三国川ダム管理所でご覧になれます。

お気軽にお問い合わせ下さい。



【<http://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/>】

標題負けしないためにも「ちゃいーん」とかサイバーでヘヴィな金属音伴ってドライアイスのひとつも焚きたいところですが、何のことありません、三国川ダムにもホームページなるものがあったりするのだから広報に便乗して「見てね」ってお願いの話。

面倒なら下のアドレスみんなに隣近所に職場で学校で吹聴しまくってくればそれでこの枠用済みなんです。【<http://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/>】

編集後記

三国川ダムの管理を始めて今年で10年目という節目の年に、地域情報誌として「ダムっ湖」を発行することとなりました。この名称は、管理所に勤務する職員の応募22点の中から決定いたしました。

いつまでも、地域の皆様に親しまれ、愛される広報誌であることを願っております。皆様からのご意見・感想などございましたらお気軽にお寄せ下さい。

原稿作成・取材させて頂いた方々には、この場をお借りしてお礼申し上げます。（編集部一同）

◆編集・発行◆

国土交通省北陸地方整備局
三国川ダム管理所

〒949-6741
新潟県南魚沼郡六日町大字清水瀬686-59

TEL (025) 774-3015
FAX (025) 774-3092

